



よくきたのっし!

教育長のつぶやき

No.28

2022. 7/8

苦しいですが、いい機会でした

「とんでもないことをし始めたな～」とやる度にひしひしと感じています。昨夜の第2回「みんなで学校を創ろう!」ご協力ありがとうございました。参加者42名と前回より+1名だけでしたが、メンバーが大分替わった割に参加者が大きく減少しなかったのは、保小のPTAで呼びかけていただき若い世代が増えたからだと感謝しています。また、Kさんのご夫妻も参加いただき、80代での参加は本当にありがたい限りです。

こちらである程度検討を重ね、教育委員の皆さんにもご了承をいただいていたスローガンも話し合っている内に、だんだん怪しい雲行きになり、最後ワークショップとして小集団でのブラッシュアップをお願いしたのですが、もう言葉の吟味のしようがないといったギブアップ状態のグループから、新たなスローガンを考えていくグループ、考えたあげくこちらで提案した言葉が全て当てはまっていると結論づけたグループがありましたが、その過程での話し合いが大変有意義だったというご意見をたくさんいただきました。しかしながら、スローガンの位置づけや誰向けのスローガンという抑えの甘さから難航した感を受けました。

何か結果を出すだけの話し合いではなく、みんなで意見を出し合う活動・それを聞き合う活動、それ自体が参加者にとって有意義な活動になったということです。これはとても大切なことで、この語り合いがスタンダードになればこの村はそうした語り合いにより住民の意見で回っていく村になります。もちろん時間や距離などで参加できない方もいらっしゃるでしょうから、そうした方のために私や館長が行っているようにこちらから地域に出向き、膝を交えて意見を聞くという活動が埋もれている意見の掘り起こしにつながると信じています。

さて、大分不安とプレッシャーを感じながらも第2回目が終わりました。ほっとしたという感覚は全く無く、「次、どうしよう!？」といった不安感が益々増したのも事実です。Yさんに後半司会を代わっていただく中で、この会を始めて第3者的な立場から見ることができ、それも勉強やよい刺激になりました。(以下感想の抜粋です)

「①栄村が今うねりを立てて変わろうとしている。皆さんの発言から伝わってくる、うれしいですね。②自分と異なる意見を聴くことはすごく勉強になる。子どもたちもそうなんだと思う。みんなでびったし一致するスローガンはたてられないけど、次回はスローガンができますように。」「様々な意見を聴けて大変勉強になりました。スローガン作りがこのワークショップで最大の課題だと思います。全体スケジュールもあるでしょうが、もう少し時間をかけて作っていいと思います。このように住民意見を出し合い合意形成できることは、とてもいい機会だと思います。」「これだけの時間をかけてスローガンを立てていく熱意と、子ども達への思いをひしひしと感じました。まったく関係ないですが、この会に出る都度子ども達との関わり方を見直しています。」ありがたい感想をたくさんいただきました。参加された方の時間を無駄にしないよう取り組みたいと思っています。

